

# 川上ダム定礎式を開催します

～令和4年度完成に向けて～

川上ダム建設事業は、独立行政法人水資源機構が三重県伊賀市で実施する洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を行うことを目的とした事業です。

川上ダム建設事業に伴うダム本体の本格的な築造にあたり、当事業に多大なご協力をいただいている方々をお招きして、ダムの永久堅固と安泰を祈願する定礎式を別紙のとおり行うこととしましたので、お知らせいたします。

日時：令和元年12月15日（日）9時30分～11時予定（雨天決行）

場所：三重県伊賀市川上地内 川上ダム ダムサイト

取材ご希望の報道機関の方は、事前に別添申込書を提出していただき、添付の駐車証をお持ちのうえ当日9時までに式会場までお越し下さい。



令和元年12月9日

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ  
第二県政記者クラブ（三重県）  
伊賀記者会  
名張市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所 総務課長 おおにし 大西

住所：〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地

電話：0595（52）1661

別紙

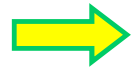
## 川上ダム定礎式

- 1 日時：令和元年12月15日（日） 9時30分～11時予定 （雨天決行）
- 2 場所：三重県伊賀市川上地内 川上ダム ダムサイト
- 3 主催：独立行政法人水資源機構
- 4 次第
  - I 式典
    - ① 開式の辞
    - ② 主催者挨拶
    - ③ 事業経過報告
    - ④ 来賓挨拶
    - ⑤ 移転者代表挨拶
    - ⑥ 来賓紹介
  - II 定礎行事
    - ① 礎石搬入
    - ② 鎮定（ちんてい）の儀（礎石の四隅にモルタルを入れ鎮め定める）
    - ③ 齋鍔（いみごて）の儀（入れられたモルタルを清められた鍔で敷き均す）
    - ④ 齋槌（いみつち）の儀（礎石の四隅を締め固める）
    - ⑤ 埋納の儀・万歳三唱・くす玉開披
    - ⑥ 閉式の辞
- 5 主な出席予定者  
衆議院議員、参議院議員、国土交通省、厚生労働省  
三重県副知事、三重県議会議長ほか関係府県  
伊賀市長、伊賀市議会議長、移転者代表など約200名の方々

以上

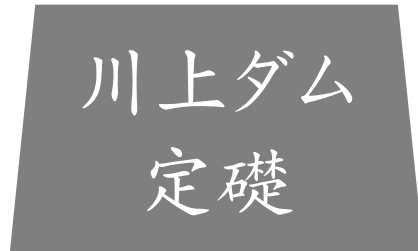
# (参考:他ダムの例)定礎式の流れ

## (1) 礎石搬入



## (2) 鎮定、齋饅、齋槌

## (3) 埋納・万歳三唱・くす玉開披



礎石(イメージ)



礎石運搬隊



礎石搬入



①鎮定(ちんてい)の儀



②齋饅(いみごて)の儀



③齋槌(いみつち)の儀

搬入された礎石を固めるため、モルタルを礎石の基礎に置くもの。工事を進める道をつけるという意味がある。

鎮定の儀により礎石の周りに置かれたモルタルを饅(こて)で均すもの。鎮定の儀によりつけられた道を均すという意味がある。

木槌で礎石を叩いてしっかりと納めるもの。鎮定の儀でつけられ、齋饅の儀で均された道をさらに強固なものにするという意味がある。



埋納(まいのう)



万歳三唱・くす玉開披